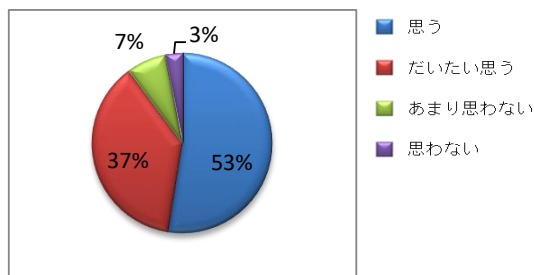


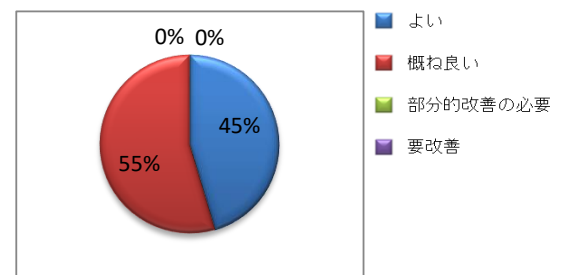
R06 学校自己評価まとめ(2学期・全校児童・職員)

【学校満足度】

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



(1) 子どもたちが楽しく学校生活が送れるよう 様々な面で配慮をしていますか。(職員)

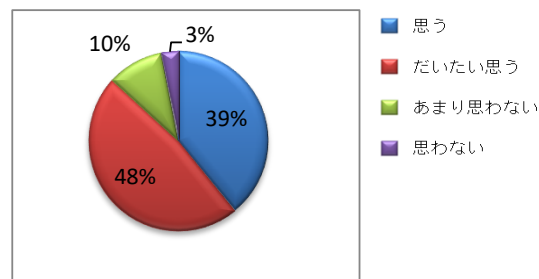


《考察》

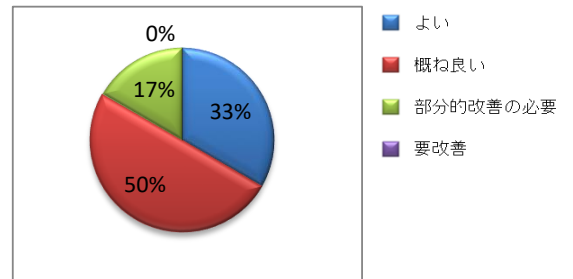
児童の調査結果は、1学期と全く変化がなかった。90%の児童が楽しいと感じている反面で、10%の児童が楽しくないと回答している。個の考え方や価値観の多様化が進む時代ではあるが、どの子にとっても居心地よく感じられる最大公約数を見出せるよう努力したい。また、児童一人一人にも、友だち同士折り合いをつけて次に進んでいける力を身につけさせたい。

【かしこく】

(2) 学校の勉強はわかりやすいですか。(児童)



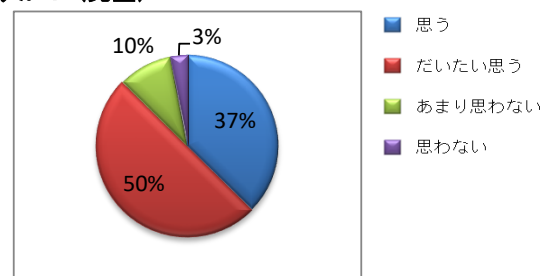
(2) めあてややることをはっきりと提示し、子どもたちにとってわかりやすい授業になるよう工夫や努力をしていますか。(職員)



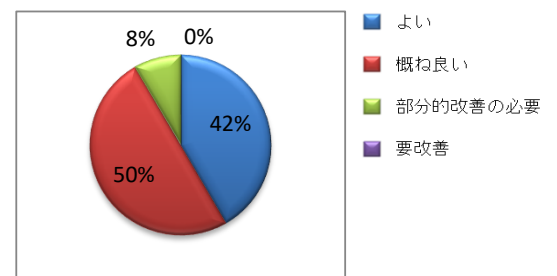
《考察》

前回の調査と比較して、「授業がわかりやすい」と感じている子の割合が減少し、「わかりにくい」「わからない」と回答した子の割合が増加している。職員の共通意識として、UD化を推進し、児童一人一人が授業のゴールまでの見通しを持ち、安心して授業に取り組めることを目指してきているが、それが子どもたちにとって実感できるような更なる工夫が必要と感じる。

(3) 授業中、進んで手をあげて、勉強をがんばっていますか。(児童)



(3) 授業で、子どもたちが自分の考えをもち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

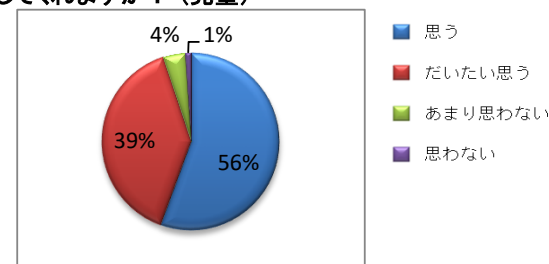


《考察》

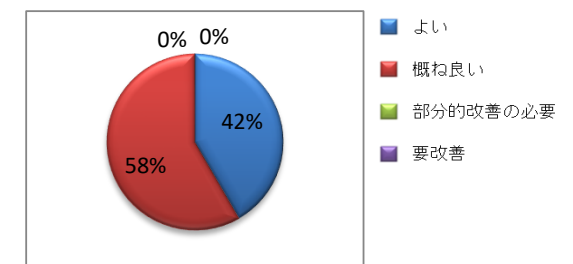
児童の結果は前回調査とあまり変わらないが、職員の意識が大きく向上している。子どもたちが考えを述べ合う時間や場の確保に努めているといえる。これがだんだん児童に浸透すれば、児童の結果も向上してくると思われる。

【やさしく】

(4) 先生方や友だちは、あなたをほめたり、はげましたりしてくれますか。(児童)



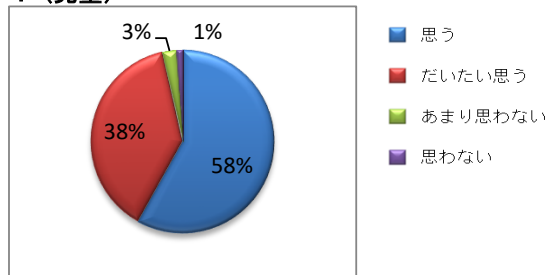
(4) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子どもたち同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)



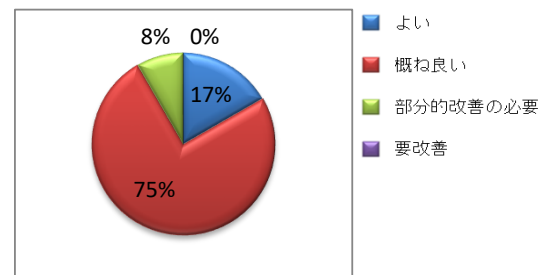
《考察》

前回と大きく変わらなかった。児童の多くが、周囲の友だちや職員に認められていること、力づけられていることを実感しているようである。こういう学校の風潮を、これからも大切にしていきたい。

(5) こまったとき、先生は、あなたの話を聞いてくれますか？（児童）



(5) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにして、子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか？（職員）

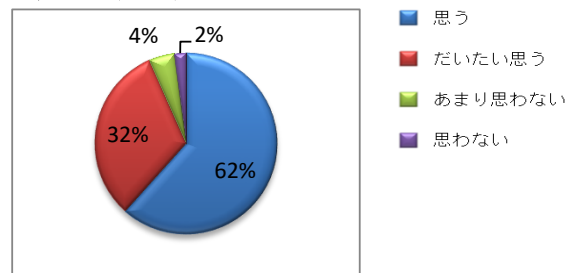


《考察》

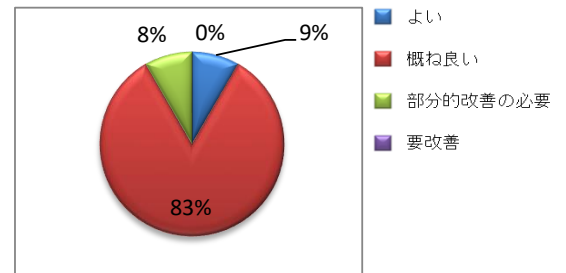
こちらの結果も、前回と大きく変わらなかった。児童の多くが、「困ったときは先生が相談に乗ってくれる」と感じているようである。この信頼を裏切らないよう、今後も一人一人の子どもたちと真摯に向き合うようにしたい。

【たくましく】

(6) 勉強や運動で、最後まであきらめずに、がんばっていますか？（児童）



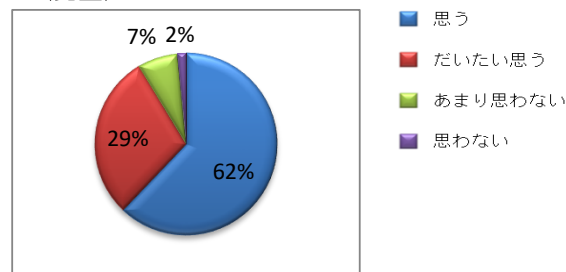
(6) 学習や運動で、子どもたちが最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか？（職員）



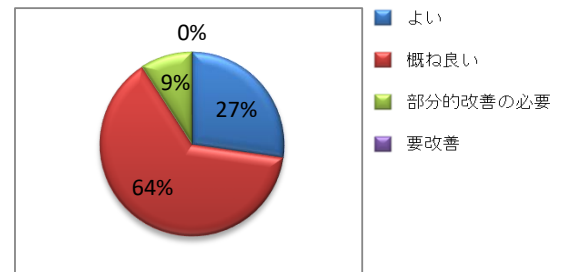
《考察》

児童の意識が高いのに対し、職員の手ごたえはやや低い傾向にある。児童にとっての「何か一つのことに打ち込んでいる」という自覚と、職員にとっての「万事打ち込める状況づくりができているか」という意識の差異かもしれない。

(7) 進んで運動をして、元気な毎日をすごしていますか？（児童）



(7) 子どもたちが積極的に体を動かせるよう、動機付けや時間・場所の確保に努めていますか？（職員）

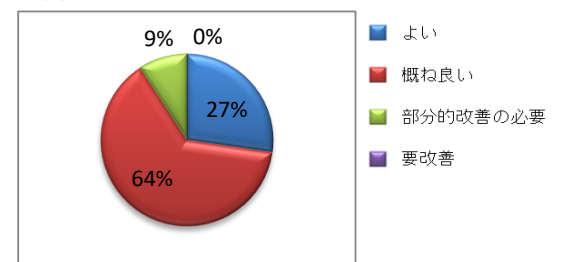


《考察》

児童の結果は前回とほぼ変わらないが、職員の意識に向上が見られる。引き続き、児童が進んで体を動かし、健康な毎日を送るよう、努めていきたい。

【地域との連携】

(8) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか？（職員）



《考察》

地域探検、大豆や米の栽培、シイタケの菌打ちやコカリナの体験など、多くの地域の方にかかわっていただきながら、ここまで教育活動を進めてきた。学校を大切に考えてくださっている地域の方々との関係を大切にし、今後も継続・発展を図っていききたい。

【職員の声】

《育ってきている点や、伸びてきている点》

関わり合いや認め合い、道徳心が育ってきている。

特性がありながらも、落ち着いて過ごせる児童が増えた。

様々な特性を持った友達が一緒に生活し、自分の考えが他の人と違っている場合もあり、そのことを受け入れる素地が育ってきているように感じる。

・自分の考えや、やってみたいことを安心して自由に発言できている。

話し合いで、立場をはっきりさせて意見をいう姿が増えた。歌声や歌う姿が変わった。おそれないで、歌えるようになってきた。児童会で自分で動ける姿が増えた。

始めから「できない」と決めつけないで、「やってみよう」と前向きな姿が育ってきた。

ノートのまとめ方 実験の仕方

・学校生活に慣れ、やるべきことややってはいけないことなどのやくそくやルールがわかってきている。
・友だちの名前も覚え、関わりが広がってきた。
・給食やそうじのやり方がわかり、自分の食べられる分量もわかったり、見つけ掃除をしたりする人が増えてきた。
・友だちのがんばっていることに気付く心が育ってきている。
(ここまで自分のクラスのことで)

・全校を盛り上げようとしてくれる6年生の姿が、見ている他の学年にいい影響を与えてくれていると思います。ありがとうございます。

自分たちで集団としての課題を把握できるようになった

友だちの考えを認め合う姿や、うまくいかないことがあっても責めたりしない姿がたくさん見られたと思います。

児童会活動の充実が図られていると思う。集会を楽しみにしている子が多い。

《改善したい点や、課題に思う点》

廊下の歩き方・休み時間の過ごし方

特性により集団への参加が難しい(登校渋りも含む)児童に対して、個別の対応・支援を関係職員で探していきたい。

廊下の歩き方・挨拶を徹底していきたい。

いろいろな活動が重なる時があり、ねらいをはきも持てないまま「こなしている」ことがあるのではないかと感じるがありました。軽重をつけて、じっくり取り組ませたい活動に時間を確保できるようにしたいと思います。

廊下を走る子どもがなかなか減らないこと。

廊下の歩行 走っている姿が多く、注意してもそのときはやめても、すぐに走り出す

今の学びがテストの点につながるような授業 テストの点で表せないが「なるほど」となる授業

・自分たちで自分たちの生活を楽しくしていく工夫(経験を通して、どうしたらいいかに気付かせたい)
・学校全体で、校内を鬼ごっこしている(友だちを追いかける・追いかけられることを楽しむ)子どもたちがいる。他に、楽しめることがないのかと思う。遊びや楽しみを生み出せるようになってほしい。

①安易に個を優先する姿勢、②難しい課題に直面した際、すぐにあきらめ追求しない点

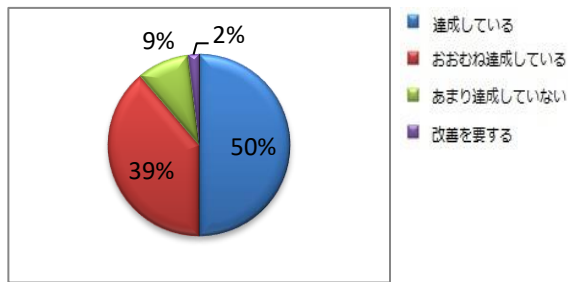
わかりやすい授業にするための工夫が十分にできていない点を反省しています。

元気があるのはよいが、もう少し自制・自重がみられるとよい。おちついた学校生活。

R06 学校自己評価 保護者アンケートのまとめ (2学期)

1 学校満足度

◎子どもさんは喜んで登校していますか。

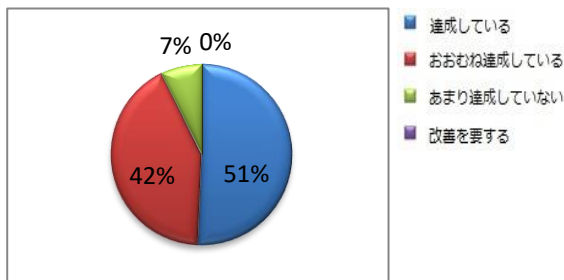


【考察】

ほぼ9割の保護者の皆様が、お子さんは喜んで登校できていると感じているようです。これは児童アンケートとでも同様です。「やってみたいから始める塩田西小」をスローガンに、今後も児童の興味・関心、意欲を大切にしながら、さらに多くの保護者の皆様、児童が学校生活が楽しいと感じられるよう教育活動の充実、よりきめ細かい指導を心がけてまいります。

2 学校教育目標にかかわって

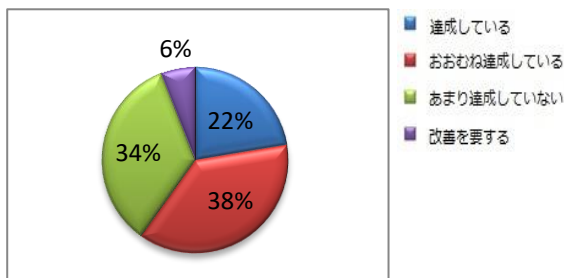
◎授業はわかりやすく進められていますか。



【考察】

昨年とほぼ同等の結果となりました。9割以上の方に肯定的な評価をしてくださっています。保護者アンケートでは、一人一台端末(タブレット)を活用した学習活動や子どもたちの主体的な学びを期待する声が寄せられました。これまで取り組んできた授業のUD化を基盤に、子どもたちが問いを持ち学習に主体的に取り組む授業づくりを目指して授業改善に取り組んでいきます。

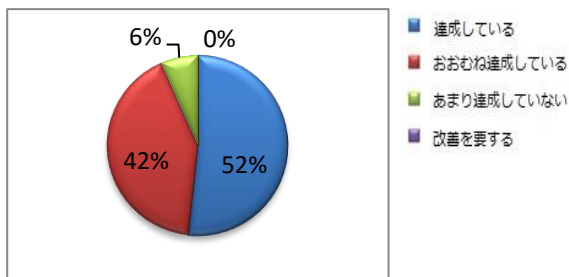
◎子どもさんは「家庭学習のめあて」に沿って、意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。



【考察】

昨年度に比べ、「あまり達成していない」の割合が増えました。家庭学習が概ね定着している半面、意欲的に取り組んだり計画的に取り組んだりすることに課題があることがうかがえます。この点は例年課題となっていますが、授業と連動した家庭学習、「紡ぐ」を活用した自主・自律的な家庭学習ができるように取り組んで参ります。

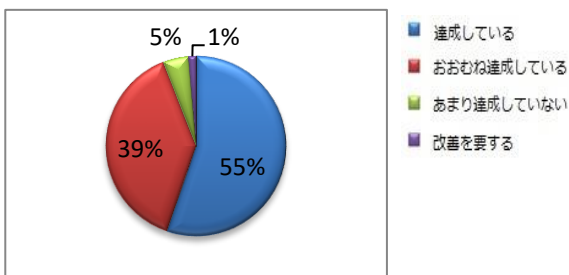
◎お家では、子どもさんのがんばりをほめたり、励ましたりする場がありますか。



【考察】

「達成」「おおむね達成」の割合が昨年度に引き続き9割を超えています。保護者の皆様が、お子様の頑張りを認め、励ましてくださっている様子がうかがえます。児童アンケートや全国学力学習状況調査の結果からも自己肯定感が高い児童が多いことが本校の特徴です。児童の明るく素直で前向きな姿は、ご家族、地域の皆様の支えがあつてのことだと思います。

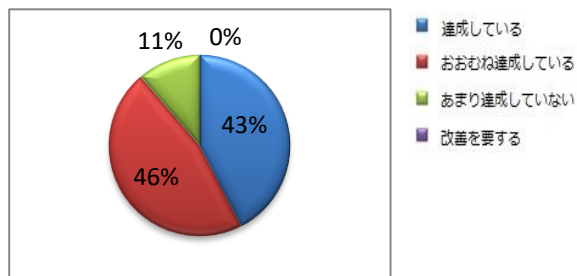
◎学級担任、学校職員は、相談しやすいですか。



【考察】

肯定的なご意見が昨年度より増え、9割以上の保護者の方が相談しやすいと感じてくださっていることにつきまして、たいへんありがたく思っています。本年度は保護者懇談会を1学期末に設定することで、早めに保護者の方と相談できる機会を設けました。今後も相談しやすい体制を整え、連携を密にするとともに、学級、学年、学校だよりの発行、ホームページの更新等の発信も大切にして参ります。

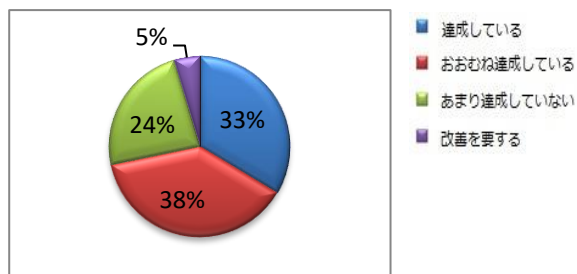
◎学校では、子どもさんが学習や運動に粘り強く取り組めるような支援がなされていると感じますか。



【考察】

ほぼ9割の方に肯定的に評価していただき、昨年度同様の結果となりました。学校では、日々の授業で学習問題を設定し、子どもたちが見通しがもてるよう取り組んでいます。また、各行事でも自分なりのめあてをもち取り組んでいます。さらに、意欲的に追究したりできるような手立ての工夫にも取り組んでいます。見直しを重ねながら、子どもたちが粘り強く取り組めるよう支援して参ります。

◎うちでは、子どもさんが進んで体を動かしたり、健康に意識して生活したりできるように配慮していますか

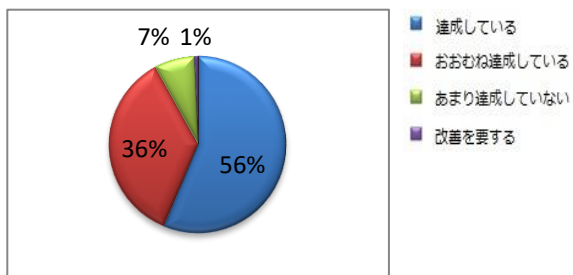


【考察】

昨年度はなかった質問です。子どもたちの体力の低下が問題となって久しいですが、学校ではマラソン旬間など、子どもたちが体を動かすことに喜びを感じられるような教育活動を展開しています。また、「歯の健康週間」や「薬物乱用防止教室」など健康教育についても力を入れています。学校で学んだことをお家でも生かせるよう、学校と家庭との協力について考えていきたいと思ひます。

3 地域との連携

◎子どもさんの成長に、地域の方々のかかわりが生かされていると感じますか。



【考察】

昨年度同様、「達成」「概ね達成」の割合が9割を超えています。地域講師による授業や地域の方々とのつながりを大切に様々な学習活動を展開してきましたが、今後も生活科、総合的な学習を中心に、子どもたちの主体的な活動になるようなふるさと体験学習、地域の方から学ぶ機会を設けていきたいと思ひます。

4 保護者のご意見

数値評価とともにたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

いただいたご意見のうち、全体に関わるもの、多く寄せられたものについてまとめました。

(1)子どもたちのよい姿について

・明るいあいさつやお礼ができる姿、話を聞く時の姿勢、下の学年の子を気遣う優しい上級生の姿など、子どもたちの良い姿についてたくさんご意見をいただきました。

・運動会や音楽会などの行事で、高学年や低学年がお互いに応援しあったり、全校で聴き合ったりする姿、学年をこえて仲の良い姿など、温かい学校の雰囲気を感じていただきました。異学年間の交流をこれからも大切に、相手を思いやる優しい心を受け継いでいけるようにしたいと思います。

(2)学習について

・興味をもったことに取り組める体験的な学習をすすめることで、学ぶ意欲を引き出してほしいというご意見をいただきました。また、パソコン(タブレット)を使用する機会を増やしてほしい、子どもの多様な興味や苦手なことも尊重し、選択肢を与えることでそれぞれが自分のペースで学習できる工夫をしてほしいなどの声をお寄せいただきました。いただいたご意見を参考に、今後も授業改善に取り組んで参ります。

(3)行事について

・前述の音楽会や運動会の他にも、社会科見学などの校外活動についても内容や時期などのご要望、改善案をいただきました。スキー教室等については、子どもたちの発達面や費用面を考慮しながら、実施について毎年検討をしております。今後も子どもが主体の行事に向けて取り組んで参ります。

(4)学校環境の整備について

・PTA作業や業者によるトイレ清掃、また、今年度は全照明のLED化工事や体育館屋根の老朽化に伴う修繕工事などが行われ環境を整備してきました。しかし、児童クラブまでの砂利道など、整備してもすぐに元に戻ってしまう場所もあります。改善に向けて検討していきます。

・通学路(登下校時)の安全についてもご意見をいただきました。自治会や警察と連絡を取り合いながら、児童が安全に登下校できるようにしていきます。

(5)地域との交流(ふるさと学習)について

・地域探検等の地域講師を招いての活動、地域の方々との交流活動、地域の伝統芸能を学ぶ機会(音楽会)、など地域とつながる学習や活動のよさにふれたご意見を多数いただきました。また、地域の恵まれた自然や伝統、歴史など地域素材を活かした教育活動の展開についてもご意見・ご提案をいただきました。本校では、これまでも地域とのつながりを大切にし、地域の人・もの・ことに関わる体験学習を積極的に進めてきました。来年度は、開校30周年を迎えますが、その節目の年にこれまでの活動を振り返り、地域素材を活かした学習を続けることで、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ児童を育てて参ります。

(6)その他(学校全体について気づいたこと)

・学校職員の子どもたちへの関わり方や、働き方改革による負担の軽減につきまして、職員の励みとなるようなご意見を多数いただきました。ありがとうございました。児童数や家庭数が毎年減少する中、行事の準備や片付け等の際に保護者の方にご協力いただけますと大変ありがたいです。

・子どもたちの自主性をとても大事にしているといったご意見や、子どもたちが自分で決めたことを主体的に実行するような機会や「やってみたい」を形にしてほしいという願いをお寄せいただきました。「やってみたいから始める塩田西小」をスローガンに今年度は、教育活動を進めて参りましたが、今後も子どもたちや職員の「やってみたい」が実現できるように、環境の整備や教育課程の編制をしていきたいと思ひます。

課題としてご指摘いただいた点につきましては、来年度の教育計画立案の参考とさせていただきます。学校教育活動全般に渡って多くのご意見をいただき、ありがとうございました。